

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	・安心した暮らしを支えるための理念は作成しています ・地域密着型としての理念は策定していません	○	現在職員で話し合っ、地域に密着したサービス提供できるような理念を構築中です
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	・理念を目につきやすい玄関に提示しています ・職員採用時やミーティングで理念を伝えたり理解してもらうようにしています		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	・利用者の入居時には家族に説明し理解してもらっています ・地域の方には運営推進会議・ゆうゆう便りで理解してもらえるように努めています		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	・町内会に加入して、町会の行事に参加しています ・ゆうゆう便りを発行し、現況を理解してもらうように努めています ・防災訓練へ町会の参加		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	・町内会に加入して、総会に参加しています ・地域の行事や活動に参加し、地域住民との交流を図っています ・防災訓練で町会の参加		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	・運営推進会議の際には地域の人たちに出席していただき情報収集し、必要な情報を提供しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	○	今後 勉強会で学ぶ機会を設けていきたい
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に意見箱を設置しています ・意見・苦情等があった場合速やかに職員全員の周知を行い検討し改善に向けています 		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月 月次報告書・ゆうゆう通信にて報告しています ・健康状態に変化のある時は都度報告しています ・面会の際には現況報告しています ・家族から金銭預かり時には、預かり証を渡しています ・毎月 買い物レシート・病院領収書・出納台帳のコピーを家族に送付しています 		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に意見箱の設置をしています ・家族の訪問時の要望・意見等はミーティングで反映させています ・契約時 苦情等の受付窓口の説明をしています 		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員からの意見は都度管理者および施設長へ伝えています ・リーダー会議・ユニット会議・勉強会での意見交換を反映させています 		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて職員の勤務調整をしています ・その際 施設長は職員に説明し、話し合いがされています 		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への影響を第一の考え、生活リズムが変化せずダメージを与えないように配慮しています ・職員は日ごろから他ユニットと交流を持ち顔なじみの関係を築いています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・本人の状況を確認し、必要なサービスにつなげられるよう努めています		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	・本人・家族に見学に来ていただき、徐々に慣れるように工夫しています		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	・生活史の中から本人を理解し、本人の生活の知恵などを教えていただいたり生活の中に役割を持って持っている力を発揮できるような場面作りをしています		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	・家族と情報を共有し、本人が自分らしく生活できるよう協力しながら支援しています		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	・定期的な連絡や面談、通信・月次報告書の発行、行事・催し物へのお誘いを行い、本人と家族の共有時間が持てるように努めています ・遠方の家族とは電話で連絡を密にし、疎遠にならないように努めています		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・面会・外出・外泊は自由に行っています		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	・家事等を通して出来ない方への気配りや支えあっています ・コミュニケーションを取りにくい方には、スタッフが間に入りパイプ役となって、孤独な人がいないように努めています		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	・入院などで退去しても、家族からの相談に応じ、必要な情報は提供しています		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・生活シート・フェイスシートなどからその人の生活歴を知り、日々の関わりの中で言動・行動・表情などから希望や意向を引き出し把握できるように努めています		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・家族関係者から入居前の情報を頂き、日々の会話の中から生活史・環境を把握しプランに組み入れ暮らしの継続に努めています		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	・生活リズム・心身の状態をアセスメントし総合的に把握できるようにスタッフは情報を共有しています ・本人・家族の声を反映しています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	・変化のあった時はモニタリングとアセスメントを行い、さらにはカンファレンスを行いプランを作成しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	・状態に変化が生じたときは、速やかに家族・スタッフとの情報交換し介護計画書の内容を見直しています		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	・気づいたことなどは記録に記入し、都度申し送りをしています ・スタッフは業務に就く前に必ず記録に目を通すことを徹底しています ・介護記録はプランにそった記入をするよう心がけています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	・本人・家族から要望があった場合は対応できる体制をとって支援しています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	・運営推進会議には町会長・民生委員・町会役員などに参加してもらっています ・詩吟等のボランティアの受け入れ ・消防・町会と連携した防災訓練の実施		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	・本人・家族からの相談はありません(実費のため)		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	・現在該当する方はいません ・必要に応じて協働していく準備はあります		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前のかかりつけ医からの情報収集を行い、本人・家族の希望により継続して医療を受けられるよう支援しています ・受診の際には都度本人・家族の希望により受診を決めています 		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医のいる協力医療機関と連携しています ・家族から相談があった場合、主治医から必要に応じ専門医療へ紹介しています 		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職員を確保しています ・顔なじみの看護職員が健康相談に同行してくれるので、とても大きな支えになっています ・母体の病院から週3回訪問看護に来て、健康管理を行っています 		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入院の際には介護添書を記入し、同じようなケアを継続して受けられるよう努めています ・回復状況を確認し、退院後の生活がスムーズに行えるよう情報収集に努めています 		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居後に本人・家族から終末期について要望・希望を確認し覚書を交わしています ・事業所としてできるケアの内容を覚書で説明しています ・主治医とも連携し考えられる治療方針など説明しています 		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との連絡を密にし、主治医の指示のもと本人・家族の希望に沿えるよう配慮しています ・支援の内容についてはチームで話し合いできる最大のケアを提供できるよう努めています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	・十分な話し合いや情報交換を住み替えによるダメージを防ぐようにしています		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアに配慮し、特に排泄に関することや混乱を招くような声かけには注意しています ・プライバシー保護を徹底しています 		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の能力に合わせ選択できるように配慮しています ・表現がうまくできない人はサインや行動・表情を見逃さないように対応しています 		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を考慮し自室で休んだりリビングで過ごしたりと、個別に時間の流れを作れるようにしています ・一人ひとりの生活パターンを把握し、希望に沿えるようにしています 		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣類など自己選択できる人は、自分で選んで着ています ・自己選択が難しい場合は、スタッフが提供したのから選んでもらったり、スタッフが選びます ・行きつけの美容室がある方は定期的に言っています 		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症が重症化したことで調理等は、簡単な作業でできることをしてもらうようにしています ・自分で食べることのできない方は介助して食べてもらっています ・一人ひとりに合わせた好みと形態で提供しています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ・飲み物は一人ひとりの状況に合わせて提供しています ・お酒を望む時には夕食時に提供しています ・煙草を吸う人はいないが、希望があればリビングで吸ってもらおうにします 		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に排尿パターンを把握し時間ごとの声かけと、トイレ誘導をしています ・トイレ誘導し気持ちよく排泄することで、失禁回数を減らせるようにしています 		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子の人には安心して入浴できるようスタッフ2人で対応しています ・入浴を拒む人には言葉かけや時間をおいてから、職員を変えてみる等の対応をしています 		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志で休んだりできない方は、体調・時間で臥床できるようにしています ・日中 レクリエーション・家事・作業等で体を動かすことにより夜間安心して眠れるように支援しています 		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の得意分野を把握し、できることを継続できるよう支援しています ・散歩・日光浴・ドライブ・買い物や季節の行事を楽しんでいます ・町内の行事(お祭り・盆踊り等)に参加しています 		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物を希望するときには、職員が同行し楽しんで買い物ができるよう支援しています ・希望により預かり金の中から買い物をしています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	・自分ひとりで外出できない方は、日光浴・散歩・買い物に誘っています ・ドライブや花見に出かけています		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	・水族館・ぶどう狩りに出かけています		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	・公衆電話が設置されています ・希望があればいつでも対応しています		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	・面会時間は自由で、いつでも気軽に訪問してもらっています ・面会の際は居室・リビングなど自由な場所で過ごしてもらっています ・気軽に訪問していただけるよう、スタッフ側から声かけしコミュニケーションをとるようにしています		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・積極的に取り組み、身体拘束廃止委員会を設けています ・入居者の行動を常に見守っています		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	・勉強会・ミーティング等で拘束について話し合う場を設け、身体拘束・言葉による拘束などについて十分理解するようにしています ・日中は玄関・およびユニット間は自由に行き来できるように鍵はかけていません		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> 各自がどこで過ごしているのか、目配りし声かけあいながら見守っています 居室・トイレ・風呂場などではプライバシーに配慮し安全に行われるよう支援しています 		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	<ul style="list-style-type: none"> 刃物(包丁など)は鍵をかけて保管しています 洗剤等は鍵のかかる物品庫に保管しています 薬は鍵のかかる物品庫に保管しています 		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 事前に防止できるような対策や実際の対応方法を勉強会・ミーティングでシュミレーションしています 店頭・窒息・誤薬等の事故を起こさぬように職員一丸となって取り組んでいます 		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 応急処置のマニュアルを作成しています マニュアルがあってもとっさの時に対応できなくては困るので、申し送りの時などにシュミレーション体験・訓練しています 		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練(日中想定・夜間想定)しています 入居者・町会の方にも参加してもらい実施しています 非常口・消火器の位置・火災通報装置の操作手順やマニュアル等作成しシュミレーションしています 消火器や・避難経路の定期点検しています 		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	<ul style="list-style-type: none"> 家族と常にコミュニケーションをとり、状態に応じた起こりうるリスクについて都度説明し話し合っています 本人と家族の思いを大切に、主治医の助言のもとケア内容やリスクについて話し合っています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>		
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>		
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>		
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>		
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>		
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 調理器具の塩素系漂白剤での消毒(毎日) 台布巾・食器用布巾も枚数を多く確保し漂白剤で消毒 食材は週3日の買い出しと毎日の配達で使い切ることで新鮮なものを使います 		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 玄関前は段差なく歩行・車椅子ともに入出入りがスムーズです 玄関前にベンチを置き、憩いの場となっています 玄関前に花畑を作り、明るい雰囲気作りをし、安心して出入りできます 		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 換気・室温に気配りしています ひな人形・五月人形などを飾り、季節を感じられるように工夫しています 廊下・トイレは広いので車いすでも無理せず動くことができます 		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ソファーに座りのんびりと過ごしたり、気の合う人と会話を楽しんだりしています 		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> 本人が使っていた馴染みの家具等を等を持ち込んでいます 危険がない限り、本人の好きなように配置し自由に心地よく過ごせるようにしています 		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 温度計をチェックし暖房調節、換気をこまめに行ない過ごしやすいように気をつけています ロスナイを使用しています 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている。</p>		

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない <p>表現できない方は家族からの情報等により意向を伺っています 日常生活の中で変化を見落とさず、柔軟に対応できるよう、情報の共有と話し合いをくりかえしています</p>
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない <p>レクリエーションや食事時間も含め時間のある限り会話を楽しみながら過ごしています</p>
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない <p>一人ひとりの生活リズムを把握し、その方に合わせた生活ができるよう支援しています</p>
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない <p>家事やレクリエーション等を通して、会話の中から生き生きとした表情がうかがえます</p>
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない <p>近隣への散歩や買い物への支援は出来ているが、天候や入居者の身体状況で行く事が出来なくなる事もあります 意志を伝えられない方には日光浴・散歩・買い物等で外に出る機会をつくっています</p>
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない <p>月2～3回健康相談の実施 週3回訪問看護師の来所 看護師が配置されており、毎日の健康チェック 母体である医療ほうじんと迅速な連携</p>
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない <p>表情や行動等を観察し、その時々に応じた支援をしています</p>
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない <p>面会の際には現状を伝え、家族からも要望等を聞くようにしています 毎月「月次報告書」を作成し文書として報告する事で明確に伝えていきます</p>
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ毎日のように ○ 数日に1回程度 ○ たまに ○ ほとんどない <p>家族の面会は多いと思います 毎週ボランティアで詩吟を教えに来てくれる地域の方もいます</p>

サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大いに増えている ○ 少しずつ増えている ○ あまり増えていない ○ 全くいない 	町内関係者・民生委員・包括支援センター・家族に参加していただき、情報の公表によりグループホームでの取り組みについて知っていただく努力をしています 地域の方からの意見等も参考にしたり、行事にも参加しています
98	職員は、生き生きと働いている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての職員が職員の2/3くらいが ○ 職員の1/3くらいが ○ ほとんどいない 	個々の状態が違う事で対応も違うのでストレスになることも多いと思いますが一生懸命努めている 意見等は気軽に言い合える環境作りが必要不可欠であり、今後より一層 のびのびと働いていただけるよう環境作りを行うことが大切であると思う
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての利用者が利用者の2/3くらいが ○ 利用者の1/3くらいが ○ ほとんどいない 	主に身体介護が必要な方(車椅子の方5名)に関しては、食事もゆっくり30分以上かかっても本人のペースで介助したりトイレ・入浴なども2人介助で対応する事でほぼ満足できているのかもしれない。しかし「すみません」と声をかけられても手がふさがっていてすぐに対応できなかったり元気な人が退屈そうにしている時があるので、それらの対応は今後考えていく必要がある
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほぼ全ての家族等が家族等の2/3くらいが ○ 家族等の1/3くらいが ○ ほとんどいない 	家族の希望には早急に応えるように配慮している。しかし家族の方も遠慮して言わないでいると頃もあると思うので、今後は家族の面会の時など「気になることはありませんか」など職員の方から言葉かけをして、話しやすい雰囲気を作っていくことも大切だと考える

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

入居者がグループホームでの生活を毎日変わりなく過ごす事が出来る様に、職員全員で取り組んでいます。
例えば、車椅子の方が5名いてトイレ介助するにも自力でほとんど起立出来ない方であっても、トイレに座って排泄できる可能性があれば日中は必ずトイレを使用しています。
ミキサー・きざみ食などさまざまな食事の形態にも、その人の状態に合わせて対応しています。
朝のミーティングでは、最近気にかかっている入居者様にスポットを当てより深く考え、スタッフから意見を出してもらい検討していくようにしています。
今後は研修等を通して他のユニットや、他のグループホームとも情報交換・意見交換を行い、介護に役立てて生きたいと考えています。